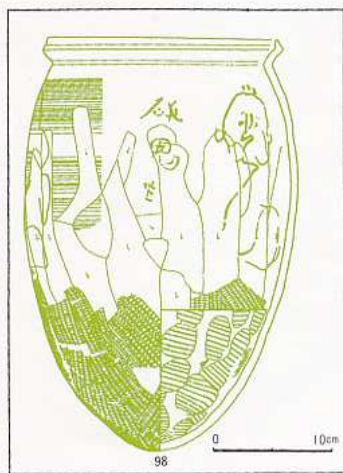


第3回企画展



「発掘された中世」

まじないと祈りの世界



祭祀に用いられた人面墨土器

期間／10月1日より11月30日まで
 ①11月1日より開館時間は
 午前9時30分より午後4時30分です。

趣旨

今よりも空がもつと青く、川もきれいであった数百年以前の
 中世――。

その時代は、呪術や信仰が今よりも生活や人々の心の中に大きく占めていました。

県内で発掘された中世の遺跡から①まじないの世界②埋葬の展開③中世の墓地の小テマを設け、その時代のすがたを浮かび上がらせようと試みて、呪術資料、経塚遺物、墳墓資料を中心に展示しました。



―「餓鬼草紙」より―

特別講演

「中尊寺金色堂の視線」

講師・東北大学教授

いりまだのぶお
 入間田宣夫氏

既に発表された同名の論文の論旨に加えて、中尊寺裏山の集石墓群、さらに屋敷墓について述べられる。

日時／10月15日(土)午後一時三十分

より当資料館研修室にて

参加者／電話にて申し込み

無料

「祈りとたたかいの中世」

シンポジウム

10月15日(土)～16日(日)

山形県立 うきたむ

風土記の丘 考古資料館

- 住所 東置賜郡高畠町大字安久津2117
- 電話 0238-52-2585



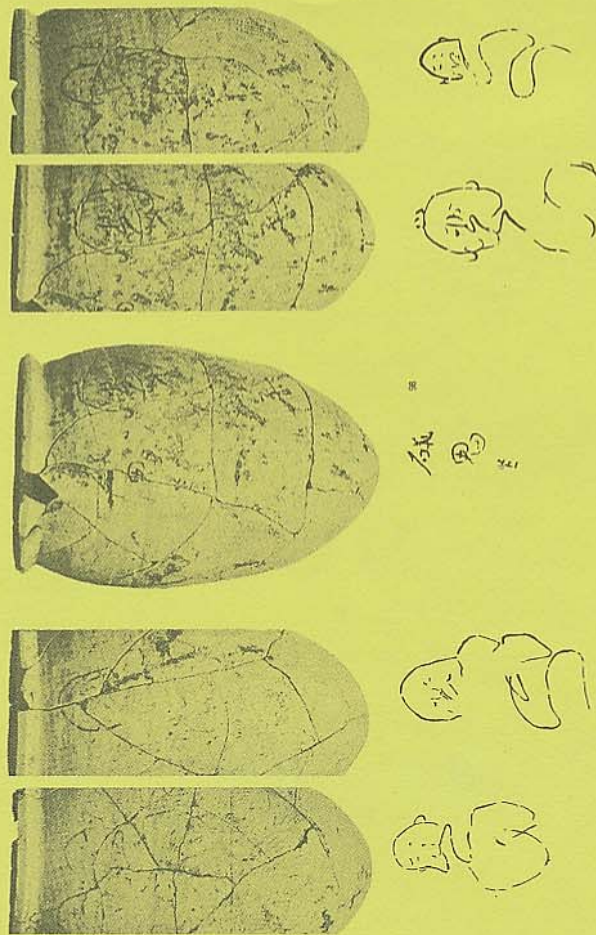
今よりも空がもっと青く、山々の緑も美しく、川もきれいであった数百年以前の中世一。その時代は、まじないや信仰が人々の暮らしの中に深く溶け込んでいました。

中世とは、12世紀末から16世紀後半まで、つまり、鎌倉・南北朝・室町・戦国までの約400年を指しています。日本の中世は、武士が勢力をもち、民衆が生き生きと歴史に登場し、新しい宗教や文化が生まれた時代でもありました。

書かれた資料が稀であった地域において、それを補う遺跡が発掘され、人々の暮らしの様子や少くも明らかになっていきます。発掘された資料を中心に、特に呪術と信仰に重点をあてて、やや時代を遡り、この時代の様子にせまろうと試みました。遠い中世の人々と対話してみませんか。

貴重な資料を提供していただいた関係各位と各機関に深く御礼申し上げます。

1994年10月 山形県立うさぎたまむ風土記の丘考古資料館



(1984.県教委報告書)

まじないの世界

人の力ではどうしようもないものに、それを越えた力を借りて目的や願いを遂げようとする行為が呪術（まじない）で、未開社会ほどあらゆる生活と深く結び付いていました。

中世においても、水が濁れることがなくわき出るように呪文を書いた土器を井戸底に沈めたり、悪霊を追い払うために「急々如律令」などの呪文を書いた札を門前に下げたり、出産や病気を治すこと、戦争や災厄防止などのために呪術が行われました。そのためにもそれを行う特別な人がおり、呪具が生まれ、そのための儀礼も行われました。

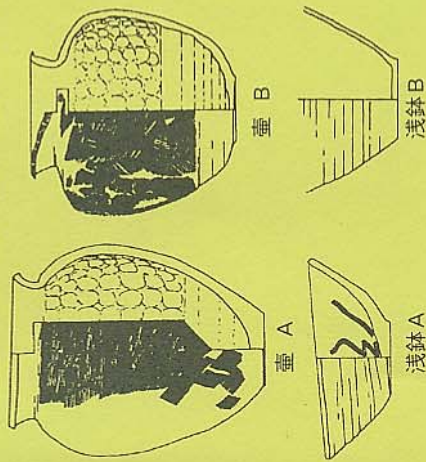
国府（国の役所）に近い八幡町俵田遺跡の呪符などはかなり公的な性格をもつものですが、時代が進むにつれて私的なものへと変わってきました。

経塚の展開

仏教がすたれることを恐れて、お経を書き写し、銅や陶器の筒などに納めて、さらに甕などに入れて埋めたタイムカプセルのようなものが経塚です。埋めたところは塚をなしていることが多いようです。

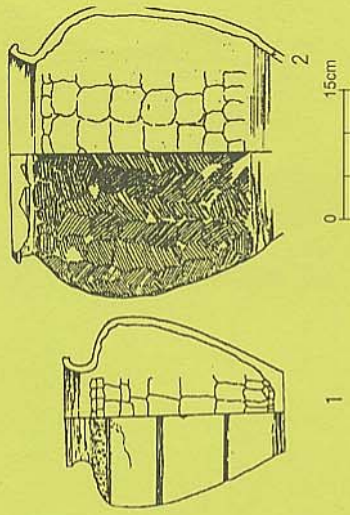
11世紀頃から始まったようですが、本県では12世紀に盛んに行われています。16世紀に入ると経を保存するよりは、各地の霊場や寺社境内に現世利益や供養のために納めるものが多くなり、近世には礫石に経典の一字ずつを書いて埋め、その上に石碑をたてる一字一石供養が各地で見られます。その古い例は中世にも廻ります。

おおむね、埋経→納経→一字一石のように変化してきました。経塚の遺物の中に、中世の人々の願いが込められていることがわかるのです。



A, B: 羽黒町袋樋出土

1, 2: 尾花沢市取上出土



中世の墓地

今はほとんどの寺に墓地があって、それぞれの墓標の下に葬られますが、これは近世に入ってから行われるようになりました。

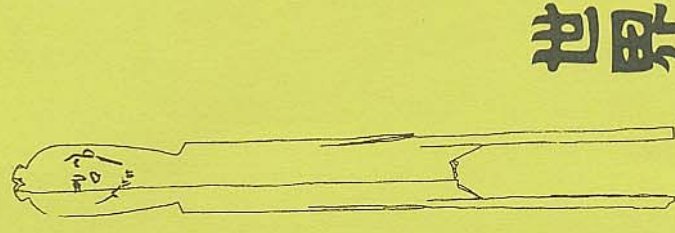
中世では一般の人々は葬られることもなく、川原や山野に遺体が置かれることが文献にも出ています。しかし、どこにでも打ち捨てられたのではなく、村外れの聖なる場所や霊地、また先祖が葬られたと信じられている古墳の近くに葬られたようです。それらの中には塚をつくって葬られた塚墓、石を集めて上を覆った集石墓、穴を掘って遺体を埋めただけの土塚墓などがあります。火葬も土葬もあったようです。

それらの中世墓地は、ツカハラ・モリ・トリトリ・アクヤ・アクツなどの地名を残していることでもあります。蔵骨器を用い、塚をつくって葬られたのは、比較的上層の人々でしょう。その地には、供養のために板碑が塔婆としてたてられたり、経塚が営まれる例も多いようです。

「発掘された中世」

No.	資料名	出土遺跡名	点数	保管及び所蔵
1	人面墨書土器	八幡町後田遺跡 SM60	1	山形県埋蔵文化財センター
2	人形呪符	〃	5	〃
3	馬形呪符	〃	5	〃
4	齊串	〃	6	〃
5	須恵器 甕	〃	1	〃
6	「急々如律令」木簡	八幡町堂の前遺跡	3	山形県立博物館
7	墨書土器「霊長」	酒田市関B遺跡	2	山形県埋蔵文化財センター
8	墨書土器「爪」「水」	山辺町塚田遺跡	3	山辺町教育委員会
9	笹塔婆	鶴岡市月記遺跡	1	山形県埋蔵文化財センター
10	木製人形	米沢市上浅川遺跡	1	米沢市教育委員会
11	絵馬様木製品	〃	1	〃
12	古鏡	羽黒町鏡が池	5	出羽三山歴史博物館
13	木製五輪塔	山形市立石寺境内岩窟	1	山寺立石寺
14	笹塔婆	〃	10	〃
15	木製経筒	遊佐町金泉経塚	1	遊佐町教育委員会
16	土師器系外筒	〃	1	〃
17	鉄製経筒	東根市光明寺跡経塚	1	東根市教育委員会
18	石製外筒	〃	1	〃
19	銅鑄製経筒	山形市仁田の沢経塚	1	山形市明円寺尚古館
20	経筒蓋(楓葉及鳥鏡)	〃	1	〃
21	須恵器系外筒	東根市葉師寺裏山経塚	1	東根市葉師寺
22	銅板製経筒	〃	1	〃
23	須恵器系経筒	〃	1	〃
24	石製外筒	〃	1	〃
25	梅花鳥文鏡	〃	1	〃
26	銅板線刻阿弥陀像	〃	1	〃
27	銅鑄製経筒	南陽市烏帽子山経塚	1	南陽市烏帽子山八幡神社
28	須恵器系外筒	〃	1	〃
29	銅鑄製経筒	高島町元和田経塚	1	南陽市宮内 渡部金吾氏
30	銅鑄製経筒	川西町菊田経塚	1	川西町教育委員会
31	銅鑄製金経筒	白鷹町笠松山経塚	1	白鷹町教育委員会
32	石製経筒	〃	1	〃
33	石製外筒	〃	1	〃
34	刀子	白鷹町称名寺裏経塚	6	〃
35	刀子	〃	1	〃
36	銅鑄製経筒	〃	3	〃
37	種子経石	白鷹町笠松山経塚	6	〃
38	一字一石経石	川西町酒町	1	川西町教育委員会
39	一字一石経石	米沢市覚範寺跡	10	米沢市教育委員会
40	古越前焼壺	米沢市荒沢	1	致道博物館
41	須恵器系蔵骨器	羽黒町袋畑墳墓	2	〃
42	同 摺鉢	〃	1	〃
43	須恵器系蔵骨器	長井市白山森墳墓	1	長井市古代の丘資料館
44	須恵器系蔵骨器	高島町金原古墳	1	高島町 高崎三郎氏
45	須恵器系蔵骨器	櫛引町柳沢A墳墓	1	山形県埋蔵文化財センター
46	須恵器系蔵骨器	米沢市大神窪跡	1	米沢市教育委員会
47	橋文須恵器系壺	川西町上小松出土	1	川西町教育委員会
48	五輪板碑	櫛引町柳沢A墳墓	1	山形県埋蔵文化財センター
49	小型板碑	米沢市早坂山B遺跡	3	本館
50	内耳土鏡	米沢市上浅川C遺跡	3	米沢市教育委員会
51	中世陶器片	置賜地域各地出土	20	本館

*31,32,33,34,35,36,37,43は11月1日より展示
※パネル写真は山形県史編さん室

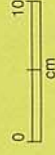


まじない人

祈りの人

世界

SM60出土遺物(5)人形
(1984.県教委同遺跡報告書)



開催期間
'94.10.1~11.30